

氏名	高橋 恵子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	基礎看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科看護学専攻卒業、 2001年聖路加看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2012年聖路加看護大学大学院博士後期課程修了				
経歴	1993 - 1997年：聖路加国際病院（看護師）、1997 - 1998年都立医療技術短期大学→都立保健科学大学助手、2001 - 2005年：聖路加看護大学講師、2006 - 2007年：聖路加看護大学21世紀COEプログラム研究員、2011-2014年：聖路加看護大学看護実践開発研究センター准教授、2014 - 2021年：聖路加国際大学大学院看護学研究科（兼務：国際・地域連携センターPCC開発地域連携室）2022年～現在 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、聖路加看護学会、日本がん看護学会、日本精神保健看護学会、日本遠隔医療学会、				

【2024年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	自治体保健師と地域の看護職の連携・協働による地域全体の健康・療養支援と仕組みづくり	共著		日本看護協会、55ページ	田口敦子、加澤佳奈、高橋恵子、三橋祐子	2024.11
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	<研究報告>市民と保健医療専門職におけるPeople-Centered Care パートナーシップの関連要因	共著	あり		厚生 の指標、71(6)、2-8	○高橋恵子、朝澤恭子、有森直子、亀井智子、麻原きよみ、大森純子、新福洋子、菱沼典子、田代順子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	市民と保健医療専門職が共に考える「英語版:People-Centered Careの教材」の作成	共同	第29回聖路加看護学会学術大会 東京都中央区		○高橋恵子、射場典子、中村めぐみ、新福洋子、亀井智子、朝澤恭子、麻原きよみ、菱沼典子、大森純子、田代順子	2024. 9
2	大学が地域に開いた市民主導の健康生成をめざす健康情報サービス事業の発展過程と課題	共同	第29回聖路加看護学会学術大会 東京都中央区		○射場 典子、菱沼 典子、高橋 恵子、内田千佳子、中村 めぐみ、大田 えりか	2024. 9
3	看護師の心理的安全性とレジリエンスとの関連-COVID-19重点医療機関を対象とした横断的調査-	共同	第28回日本看護管理学会学術集会、愛知県名古屋		○飯嶋周也、鈴木康美、國澤尚子、高橋恵子	2024.8
4	埼玉県立大学が地域の子どもに開く「からだプログラム」の開発	共同	第17回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会、埼玉県越谷市		○吉村基宜、高橋恵子、田村佳士枝、山田牧子、日野さち恵、添田啓子、平田美佳	2024.11
5	市民のヘルスリテラシーの向上をめざすオンライン講座の有用性ー参加者の特性とヘルスリテラシーの変化ー	共同	第44回日本看護科学学会学術集会 熊本県		○高橋恵子、佐藤晋巨、松本直子、中村めぐみ、射場典子、高橋綾、山田牧子、平田美佳	2024.12
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	【講演】 People - Centered Careの概念と実践 ～市民と保健医療専門職とのパートナーシップ～	単著	聖路加同窓会生涯学習支援講演会（会場：聖路加国際大学）		○高橋恵子	2024.6

2	【Webサイト】 「PCCを学ぶ」 聖路加国際大学ホームページ掲載 ①共に考えよう市民中心のケア（日本語版） ②Let's Work Together People-Centered Care（英語版） ※国際的に活用できるPCCサイトとして英語版での発信	共著	https://p-cc.jp https://p-cc.jp/en/ 聖路加国際大学ホームページ掲載「PCCを学ぶ」 https://university.luke.ac.jp/about/pcc_index.html	【Webサイト】高橋恵子、亀井智子、麻原きよみ、射場典子、中村めぐみ、有森直子、新福洋子、朝澤恭子、大森純子、菱沼典子、田代順子	2025.3
---	---	----	--	--	--------

2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・科学研究費補助金（基盤研究B）	市民と保健医療者が共に考える「市民主導型ケア」の学習支援プログラムの開発と評価	研究代表者	2024.4 - 2029.3
2	埼玉県立大学：奨励研究 A研究	市民の「健康情報を入手し、理解する力」の向上をめざすオンラインを用いたヘルスリテラシープログラムの評価	研究代表者	2023.4 - 2025.3
3	埼玉県立大学：奨励研究 A研究	埼玉県立大学が地域の子どもに開く「からだプログラム」の開発	研究分担者	2024.4 - 2026.3

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護学原論		16	1年生対象：看護の基本的概念である看護・人間・健康・環境について学習することを目的とした講義である。主に2コマの授業を担当し、その他の授業ではグループディカッションへの指導に参与した。
2	大学院 看護理論		16	大学院博士前期課程対象：科目責任者と共に科目全体の教育計画を検討し、運営を行った。看護の理論の中範囲理論を担当「People-Centered Careの理論と実践の説明」の他に、受講生の課題のプレゼンテーションへの指導を行った。
3	大学院 看護学教育論	○	16	大学院博士前期課程対象：看護に必要な学習理論、看護教育における教授－学習方法に適用するための基盤となる知識を獲得することを目的とした授業である。履修学生は、実際に教育計画案を作成し、模擬講義を行い評価する。その過程における指導を行った。
4	川崎市立看護大学：サービラーニング論I		2	看護学科1年生：サービラーニングの概念及び、サービラーニングに必要な技術を身につけ、多様な考え方を学科目である。2コマを担当し、サービラーニングの特徴と意義について、グループワークを用いながら進めた。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	看護方法Ⅰ		4	1年生対象：看護の基本技術の習得を目的とした講義・演習であり、当事者とのコミュニケーション演習指導に参与した（学生の思考を大切に、助言は学生の言動を確認してから対応した）
2	看護方法Ⅱ		8	2年生対象：日常生活援助の知識と技術（移動）の習得を目的とした講義・演習であり、主に演習時（ボディメカニクス・車いす移動）の指導に参与した

3	看護方法Ⅲ		6	2年生対象：日常生活援助（清潔の保持）の知識と技術の習得を目的とした講義・演習であり、主に足浴の演習時の指導に参与した	
4	看護方法Ⅴ		16	2年生対象：対象の状態に応じた看護を実践する力を目的とした講義・演習であり、主に演習時の指導に参与した。	
(3) 実習					
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	基礎看護学実習Ⅰ	○	2025.2 1単位	科目責任者として1年生を対象の初めての実習を、病院実習2日間と学内実習3日間に組み合わせて実施する（1単位：45時間）。科目全体の計画及び、主に学内実習の3日間を中心に担当した。	
2	基礎看護学実習Ⅱ		2024.10 2単位	2年生の臨地実習指導：独協埼玉医療センターの病棟において患者を受け持ち看護過程を展開をする学生の実習指導（2クール担当：1G5名×2回）	
3	ヒューマンケア体験実習	○	2024.9 1単位	1年生の統合学習指導：8グループで構成する4チーム（40名）の担当学生の学びの支援を行った。※1チームは、2G学生10名に1教員が配置されたチーム	
(4) 論文指導					
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文		2024.4～2025.3	主指導 3名	副指導 0名
2	修士論文		2024.4～2025.3	主指導（指導教員） 1名	副指導（指導補助教員） 0名
(5) その他					
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	川崎市立看護大学：非常勤講師		2024.4～2025.3	川崎市立看護大学のサービスラーニング論Ⅰを非常勤講師として2コマ担当した。	
2	聖路加国際大学大学院看護学研究科：客員研究員		2024.4～2025.3	客員研究員としてPeople-Centered Careの研究活動を実施：「市民のヘルスリテラシー事業」「PCC教材開発」「聖路加国際大学WHOCCの活動成果への貢献」に取り組んだ	
4. 社会貢献活動					
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師					
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	【研修講義・研究指導】 虎の門病院 看護師研修		虎の門病院 看護部	【研修】①虎の門病院の看護師向けの研究活動研修の一部を担当 テーマ「文献レビュー」（講師として） ②虎の門病院の看護師の研究指導 1名（1年間）	2024.6.1
2	【講演】 聖路加国際大学同窓会企画 講演会		聖路加同窓会	【講演】「People-Centered Careの概念と実践」をテーマに講演を行った（講師として）。	2024.6.22
3	【研修講義】 越谷市立病院 実習指導者研修		越谷市立病院 看護部	【研修】実習指導者を対象に「看護学生の成長を促す臨床実習指導者一人はどのように成長するのか」をテーマに講義を行った（講師として）。	2024.7.22
4	埼玉県立大学オープンカレッジ ：からだのおはなし会（8月20、21日）		埼玉県立大学 オープンカレッジ	【公開講座】5歳児の親子を対象に、子どもへからだのしくみを伝える活動を行った。紙芝居、歌、からだTシャツなどを用いて行った。2日間合計子ども38名、保護者27名参加	2024.8.21、22
5	聖路加国際大学：認定看護師教育課程（共通科目）：医療情報論（8月30日）		聖路加国際大学 生涯教育部	【講義】認定看護師教育課程：医療情報論 医療情報の収集と活用 「ヘルスリテラシー」	2024.8.30

6	埼玉県立大学オープンカレッジ 健康情報の探し方、選び方、使い方を学ぼう！ヘルスリテラシー講座（8月31日）	埼玉県立大学 オープンカレッジ	【公開講座】市民講座を開催：オンラインにて講師として、自分の健康を自分で創り守ために必要となる、基本的な健康情報の探し方・選び方のコツを紹介。（オンライン開催）	2024.8.31	
7	聖路加国際大学：認定看護師教育課程（訪問看護師）：地域包括ケアシステム	聖路加国際大学 生涯教育部	認定看護師教育課程 ：地域包括ケアシステム「メンタルケア：アサーション」チーム医療を促進するためのコミュニケーションを学ぶ科目である。授業内容は、アサーションに焦点を当てて、ワークを取り入れ、授業を進めた。	2024.9.6	
8	NPO法人からだフシギ：からだ先生研修会（9月30日）	NPO法人 「からだフシギ」	【ワークショップ】NPO法人からだフシギの「からだ先生」研修会に、委員として参与した。開催場所：聖路加国際大学）	2024.9.14	
9	放射線診療患者のメンタルケアの講義（8月9日）	公立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 人材育成センター	【講義】放射線看護課程を受講する看護師を対象に、放射線診療患者のメンタルケアについて講義。	2024.8.9	
10	第44回日本看護科学学会学術集会 市民公開講座（運営） （12月8日）	日本看護科学学会 社会貢献委員会	【公開講座・運営】第44回日本看護科学学会学術集会の市民を対象に公開講座を行った。市民公開講座 テーマ：快うん防災ーもしもに備えて、日ごろから「気持ちよく出す」ことを整えましょうー 企画担当として：社会貢献委員（IN:熊本）	2024.12.8	
11	越谷市：越谷生涯教育フェスティバル 埼玉県立大学が子どもたちに開く「からだのおはなし会」（2月23日）	越谷市役所	【公開講座】越谷生涯教育フェスティバル 越谷市で開催する、子どもから高齢者までを対象に行われる体験学習として、「からだのおはなし会」を開催した（越谷市中央会館）。	2025.2.23	
12	日本看護科学学会学会 JANS:看護学研究者ナビ （運営） （10月11日）	日本看護科学学会 社会貢献委員会	【インスタライブ・運営】高校生の質問に答えます！「看護学の研究者って何するの？」をテーマに、高校生に看護学研究者について、インスタライブを開催し高校生の質問に答えた。（委員として参与）	2024.10.11	
（2）国、自治体、学術団体等における委員等					
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期	
1	日本看護科学学会		社会貢献委員会（委員）	2021年6月～ 2025年6月30日迄	
2	聖路加看護学会		評議員	2022年6月～ 2025年6月30日迄	
3	聖路加看護学会		選挙管理委員会	2024年4月～ 2025年3月31日迄	
4	【自治体】越谷市役所 市民活動支援課		越谷しらこばと基金運営委員会（委員長）	2023年4月～ 2024年6月30日迄	
（3）ジャーナリズムでの発言					
	メディア等の名称			内容	年月
1	該当なし				
（4）その他					
	項目	相手方等	内容		期間
1	地域貢献活動	NPO法人からだフシギ	子どもたちが、自分のからだをもっと大切にしようと思うことができるための活動（からだ先生の研修会、定例会議への参与）		2024.4～2025.3

5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	4大学連携運営委員会	2024.4～2025.3
2	学生支援（担任業務）	2年担任長の役割 学年ガイダンス、学生相談、個人面談、キャリアデザインの講義支援なども行った。	2024.4～2025.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	健康マスター普及認定講師（日本健康生活推進協会）更新：2026年10月末迄有効 市民のヘルスリテラシー向上を目指す取り組みを推進している事業団体が提示しているもの		